



## 演舞道具について（基本事項）

### ◆ 取り扱いについて

太鼓の面（革）は湿気に弱いため濡らさないように注意する

太鼓の面に濡れた帯を載せない

太鼓の上には決して座らない、物を置かない

太鼓を重ねて置く際はサイズを合わせるようにする（中太鼓と中太鼓／大太鼓と大太鼓 など）

旗・幟（のぼり）は決して跨がない

### ◆ 各道具の役割／出演時の注意事項

#### 1. 獅子舞

##### 守り神であり、獅子に噛まれると災いが去り、幸運が訪れる

客席の雰囲気ガラッと変えることが出来る花形のポジション

当団の獅子舞は「御魂入れ（みたまいれ）」をした神聖なものです

##### (1) 主な登場シーン

曲目「獅子 GongGong」「十五夜流り」、全体でのカチャーシーなど

##### (2) 出演時（前と後ろ、二人一組）

入る時 … 安全を祈願し二人一緒に獅子に手を合わせて拝む

終了後 … 獅子の舌を軽く水で濡らす

仕舞う前 … 無事に終えたことへの感謝の気持ちを込め再び二人で手を合わせて拝む

※ 出演前、移動時など観客に獅子の頭が観客に見えないように注意する

※ 極力人前ではかぶらない



#### 2. 旗（旗持ち）

##### 天と地を結ぶ架け橋であり、神様が降りてくる目印

出演の際に会場やメンバーを盛り上げるために必要不可欠

##### ➤ 出演時

危険防止のため **中学生以下は禁止**

アップテンポの楽しい曲では八の字に大きく振る

太鼓を叩いているメンバーと共にフェーシ（掛け声）を出す



#### 3. 幟（幟持ち）

##### 当団の幟は沖縄の旗頭をイメージ、勇ましさを演出

旗と同様の役割（ただし、旗のように振ったりはしません）

##### ➤ 出演時

上げる時下す時は周囲に観客がいないことを確認する

上げる時下す時は必ず誰かにサポートしてもらう

両手でしっかりと支える

支える力が必要なため **高校生以下のメンバーと女性メンバーは禁止**





## 衣装・身だしなみについて（基本事項）

### ◆ 出演時の心構え

琉球舞団昇龍祭太鼓は“一糸乱れぬ”演舞、人に“魅せる”踊りを追求する団体です。

演舞は技術・技能だけでなく、衣装・身だしなみ、すべてが備わって一流と言えます。衣装の取り扱い、装着・身だしなみについて出演を通して、しっかりと身に付けてください。

### ◆ 衣装内容／着用時の注意事項

当団の団員であることを象徴するものです。大切に扱ってください。

	製造依頼品	市販品
衣装内訳	上着	白足袋
	黒ズボン	手甲（黒）
	帯	黒Ｔシャツ※1
	男性：サージ／女性：リボン	足袋ソックス※1

### 1. 購入・納品について

黒Ｔシャツ・足袋ソックス以外は、用意ができるまで貸し出します。

#### (1) 製造依頼品

氏名入りの衣装を発注（納品まで約３ヶ月）

#### (2) 市販品

白足袋は必ず指定のもの（力王ホホワイト 15枚コハゼ※2）を着用

手甲（黒）は作業着店やネットショップで購入可能

黒Ｔシャツ・足袋ソックスは入団初期に各自購入

※1 貸し出し品がないため入団後早めに用意してください（活動資料3. 参照）

※2 店頭での取り扱いが少ない商品のため仕入時期について衣装部へ相談してください

### 2. 着用時の身だしなみ

装飾品の取り扱いは琉球舞団昇龍祭太鼓 活動規則 3. 4) および（別表1）・（別表2）を順守する

- ・ 女性はゴム・ヘアピン・整髪料等を用いて、前髪でリボンが隠れないようセットする
- ・ 女性は出来る限りポニーテールで統一し、髪が短い場合は演舞中に乱れないようセットする
- ・ ゴムやヘアピンは黒・紺・茶など目立たない色を使用する

### 3. その他

#### **【全着（ぜんちゃく）】 衣装を全て身に着けた状態**

出演時は「〇時まで全着」と指示があります。全着前は黒ズボン・黒Ｔシャツを基本とします。

- ・ 全着後に人前に出ることは極力避ける（出る際は上着を羽織るなどの対応が必要）
- ・ イベントの途中で食事を摂る場合、衣装を脱ぐまたは上着を羽織り汚さないように注意する
- ・ 衣装は出演後のミーティング終了まで脱がない